

第2回にしとうきょう環境アワード応募者一覧

資料3

No.	受賞団体	団体の区分	表彰の範囲	活動の概要
1	株式会社エネスパート (自薦)	事業者	(1) 省エネルギー・再生可能エネルギーの導入・普及	地球温暖化防止のため、省エネ家電機器（省エネエアコン、LED）、節ガス設備機器（エコジョーズ）、節水設備など地域に環境によい製品を積極的に提案している。昨年度は交換機器の約80%を省エネ設備機器に取り換えを行った。
2	M e C西東京 (自薦)	市民団体	(2) 緑の保全及び緑化の推進 (4) その他地球温暖化対策の推進に関する取組	石神井川の清掃活動をし、清流の復活やホテルの再生を目指している。また、地球温暖化防止の講演会を開催し、環境の大切さを訴えている。「考え方は地球規模で、行動は足元から」を実践し、水を大切にし、緑を豊かにすることが、地球温暖化防止の大きく役立つとしている。
3	東京第一友の会南沢方面 (エコプラザ事務員推薦)	市民団体	(3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・西東京市の環境、エコ、ごみの減量化に関する講座開催。 ・残った毛糸を活用し、作品を作り各種施設に寄付をしている。 ・西東京市の環境講座の講師を務め、市民に広く環境に関する情報を提供している。 ・中古衣料や日用品などを集めて必要とされている方に提供している。
4	ごみ資源化市民会議 (自薦)	市民団体	(3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	市のリサイクル市（現在休止中）、消費生活展、アースデイなどで「おちゃわんリサイクル」と称して廃食器を集めて、自費で岐阜県の産地業者に送り、粘土に再生、利用されている。リサイクル市では毎回500キロ程度が集まり、年間5トン程度の不燃ごみの減量に寄与している。また、ペットボトルのキャップ回収も当団体が市に紹介をして始まったので、今でもごみ減量推進課とタイアップをしている。
5	公益社団法人 西東京市シルバー人材センター (自薦)	公益社団法人	(1) 省エネルギー・再生可能エネルギーの導入・普及 (3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・公共・民間問わず、雑草等の除草作業をガソリン・軽油を燃料としている刈込機でなく、手作業で行っている。 ・シルバー主催の高齢者向けサロン活動で、誰もが作成できる牛乳パックを使用した小物入れを製作。また、市へ回収された使わなくなった傘の布を活用し、自転車用前カゴカバー・自転車ハンドルカバー（防水・撥水抜群）を製作。
6	学校法人 日本文華学園 文華女子高等学校 (他薦)	学校法人	(2) 緑の保全及び緑化の推進	文華女子高等学校では、市職員及びボランティア団体と協働で、隣接する西原自然公園の下草刈りを行っている。例年、多くの学生が参加（令和5年度は65人の参加）し、公園の自然環境の維持・管理に携わっており、緑の保全及び緑化の推進に大きく貢献する活動を行っている。
7	栄小学校 6年生 (自薦)	小学校	(3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進 (4) その他地球温暖化対策の推進に関する取組	総合的な学習の時間「ふるさと探求学習」において、住みたい街、魅力ある街にしていくにはどうしたらいいかを考え、行動する学習を行った。「わんぱく公園」に着目し、みどり公園課の協力を得てごみを集め、分別し、除草したり、壁面の清掃を行ったりした。今後、公園にポスターを設置し、啓もう活動を行っていく。

No.	受賞団体	団体の区分	表彰の範囲	活動の概要
8	谷戸小学校 (自薦)	小学校	(2) 緑の保全及び緑化の推進 (3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	教育委員会教育奨励事業研究奨励校として「環境教育」をテーマに、授業を通して校内研究を進めている。SDGsを意識したごみの分別意識の醸成、学校としてクールチョイスの登録、委員会活動として飼育委員の飼育活動やビオトープの維持管理の活動を行っている。
9	向台小学校 環境委員会 (自薦)	小学校	(2) 緑の保全及び緑化の推進 (4) その他地球温暖化対策の推進に関する取組	5・6年生が担当する環境委員会には、ビオトープ部があり、敷地内のビオトープの観察や整備を行っている。環境委員会は、定期的にビオトープにある植物や生物を観察して調べ、生物多様性を学ぶとともに地球温暖化防止につながる緑の保全の役割を学ぶ。
10	保谷小学校 (自薦)	小学校	(2) 緑の保全及び緑化の推進 (3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	・毎年、5月にツルレイシとヘチマを植え、みどりのカーテンを育てている。今年度も4年生が中心となって育てている。ヘチマの実を授業で活用している。 ・ペットボトルキャップを回収して、リサイクルをしている。キャップで発生した利益は発展途上国の子どもたちのワクチン代として活用されている。
11	柳沢中学校 花いっぱい花壇プロジェクト (自薦)	中学校	(2) 緑の保全及び緑化の推進	令和4年度、「開校50周年記念：西門を正門にするプロジェクト」を立ち上げ、地域協力者、本校ボランティア生徒により活動を開始した。今年度は、「花いっぱい花壇プロジェクト」として、ボランティア推進会の一環として活動中である。
12	保谷中学校 ボランティア部 (自薦)	中学校	(2) 緑の保全及び緑化の推進 (3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	毎年、ベルマークやテトラパックの回収、学校の清掃活動、花植え活動などを行っている。今年度から新たにペットボトルキャップのリサイクル活動を始めた。校内で集めたペットボトルキャップは選別、洗浄、乾燥を経て回収業者に送付する。
13	田無第一中学校 生活委員会 (自薦)	中学校	(3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	年に2回地域のゴミ拾いを行い、分別している。学校内だけでなく、地域にも貢献できる活動はないかと考え、始まった。活動を1人でも多くの方に知っていただき、地域の美化やゴミ問題について普及していく。
14	田無第一中学校 IJ学級 (自薦)	中学校	(3) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	・タマネギの皮の草木染め タマネギの皮の草木染めを通して、廃棄する物であっても使い次第では資源になることを学び、資源の有効利用について考える態度を養った。 ・学校の伐採木を使ったキーホルダーと鉛筆立て作り 学校の伐採木を使用することで、廃棄する物であっても使い次第では資源になることを学び、資源の有効利用について考える態度を養った。